

発電所の価値を高め維持する

完全完護型 100%発電量維持O&M

100%発電量維持O&Mとは

太陽光発電のリスクとして「発電所は劣化する」ものです！

一般的に、パネルは20年間で
20%の劣化を考慮した
出力性能を保証している

ということは…



年間1%程度のパネル劣化、
発電量低下が予測される

これは、1MW発電所(FIT:40円)の場合、20年間で **約1億円** の損失となります。

そこで、「**完全完護型 100%発電量維持O&M**」をご提案します。
このO&Mでは、2つのプロセスで発電量の維持を実現します！

監視
分析



改善
復旧



発電量
維持



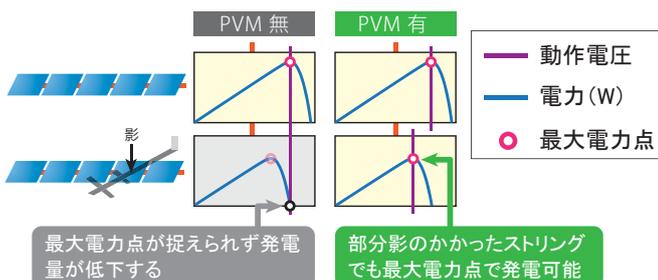
- 20年間の売電収入額の安定化
- 発電所の資産価値の維持

100%発電量維持O&Mの核となる、PVマキシマイザー&PVガードマン

PVマキシマイザーで発電量を最大化



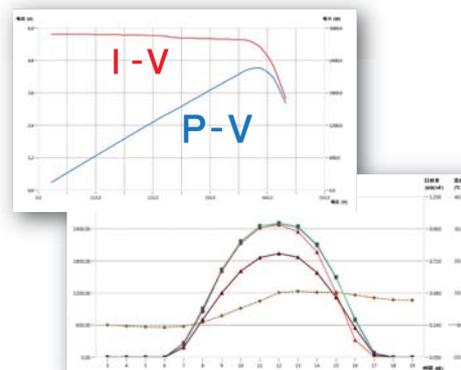
ストリング単位で最適制御(MPPT)を行い、発電量を最大化



PVガードマンで遠隔監視&診断

PVGuardman

PV特性を毎日自動で取得し、診断することが可能



遠隔でI-V、
P-Vカーブの
取得が可能、
異常の早期
発見を実現